

2026 年度研究留学・海外インターンシップ（HU-GRIP）による経済支援 募集要項【教員推薦型】

1. 背景・経緯

広島大学では、人材育成目標「平和を希求しチャレンジする国際的教養人」に基づき、ステップアップ型の留学プログラムを実施しています。この段階的な留学プログラムの最上位に位置付ける「研究留学・海外インターンシッププログラム」として、2026 年度に実施を予定している研究留学（教員推薦型）について、経済支援（JASSO 奨学金）を希望する派遣を募集します。※企業や国際機関でのインターンシップ（G-ECBO、グローバルインターンシップ等）については、グローバル化推進グループへお問合せください。

2. HU-GRIP の目的

本プログラムは、学生の専門領域や卒業・修了後のキャリアを見据えた高度専門人材の育成を目的とした研究留学・海外インターンシッププログラムです。本学が協定等を締結している海外の大学、研究機関及び国際機関へ本学の学部3年次生以上及び大学院生を1か月以上派遣し、専門領域や卒業・修了後の就職を見据えた調査・研究課題に派遣先の教員・担当者の指導のもと取り組みます。派遣終了後はその成果を学位論文の一部とするとともに、派遣先でのネットワーク形成を通じて、学生自身が卒業・修了後にグローバルに活躍できるキャリア形成のファーストステップとすることを目標としています。

3. 支援対象及び支援内容

（1） 支援対象

対象プログラム：以下全てに該当するプログラムを対象とします。

- ① 学生交流に関する協定や合意文書等に基づき実施されるものであること。
（協定のない場合は合意文書等を作成のうえプログラム終了時まで保管ください）
- ② 2026 年度内（2027 年 3 月 31 日まで）に開始され、プログラム期間（実派遣日数）が 31 日以上 1 年以内であること。
- ③ 帰国後に単位互換が可能であることが望ましい。
- ④ 研究・活動計画が明確であり、プログラム終了後、その成果等を指定の様式にまとめ提出できるものであること。
- ⑤ 派遣希望大学等（※1）が、以下のいずれかの条件にあてはまること。
（ア）QS 又は THE ランキングにおいて、本学より上位の大学であること。
（イ）途上国・地域においては、当該国・地域のトップ 10 位相当の大学であること。
（ウ）特定の専門分野で研究力の高い大学であること。
※1 派遣希望大学等には研究機関が含まれます。

対象学生：上記プログラムに参加する学生は、以下全てに該当する者を対象とします。

- ① 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者。（特別永住者を含む）
- ② 本学における学業成績が優秀（※1）で、人物ともに優れているとチューター又は指導教員が認める者。
- ③ プログラムへの参加目的及び計画が明確で、プログラムごとに実施される事前・事後学習全てに参加し、本学での学修と同等又は同等以上の教育効果が期待できる者。
- ④ 学部 3 年次生以上で、プログラム終了後、再び本学に戻り学業を継続し、学位を取得

する者又は卒業する者。(※2)

- ⑤ プログラム終了後、事後評価や広報活動に全面的に協力できる者。
- ⑥ 派遣先大学等所在国・地域への入国にあたり、必要な査証（ビザ）を確実に取得できる者。
- ⑦ 本経済支援以外の、派遣プログラム参加のための奨学金等（渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない）を受ける場合、当該奨学金等の支給月額（複数の団体等から受ける場合は合計金額の月額換算額）が、本支援による奨学金月額を超えない者。

※1 選考時の前年度の成績評価係数が 2.30 以上（3.00 満点）であること。ただし、成績評価係数で表すことができない場合は、別に定める様式に、特に成績が優秀であり、成績評価係数 2.30 相当以上であるとする理由を明記すること。

<成績評価係数の算出方法>

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式にあてはめて算出。

（少数点第 3 位を四捨五入）

	成績評価				
本学の成績評価	S (秀: 90 点以上)	A (優: 80 以上 89 点以下)	B (良: 70 以上 79 点以下)	C (可: 60 以上 69 点以下)	D (不可: 60 点未満)
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式） P=ポイント

$$\frac{(\text{「評価 P3 の単位数」} \times 3) + (\text{「評価 P2 の単位数」} \times 2) + (\text{「評価 P1 の単位数」} \times 1) + (\text{「評価 P0 の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※2 プログラム途中で正規の課程を卒業・修了する者は要件を満たしません。
例) プログラム途中で学部課程を卒業し、引き続き大学院に進学する。

(2) 支援内容

対象学生に以下のとおり支給します。

月額 8~12 万円

※ 派遣先地域により月額が異なります。

※ 上記奨学金以外に財政的支援はありません。すなわち、渡航費、査証取得に関わる費用、海外旅行保険料等は、派遣学生の負担となります。

(3) 対象国・地域

アメリカ合衆国、インド、インドネシア、エジプト、オーストラリア、オーストリア、カンボジア、ガーナ、ケニア、コートジボワール、ザンビア、シンガポール、スイス、タイ、ドイツ、ネパール、フランス、フィリピン、ベトナム、マラウイ、マレーシア、ミャンマー、ラオス、ロシア、英国、香港、台湾、大韓民国、中国、南アフリカ共和国

※ その他の国・地域に派遣をご希望の場合は、事前にご相談ください。

4. 参加学生の語学要件

TOEIC 600 点以上。(又はこれに相当する英語能力)

5. 応募手続き及び応募締切り

本プログラムへの応募を希望する場合は、以下の応募書類を準備の上、各学部・研究科等支援室に各学部・研究科等支援室の所定の締切りまでに提出してください。

なお、応募締切りまでに手続きを完了できない事情がある場合は、応募締切日までに下記問い合わせ先へ連絡の上、相談を行ってください。

6. 応募書類

- (1) 学生海外派遣計画・推薦書【様式1】 ※指導教員が作成
- (2) 語学能力を確認できる書類（語学能力試験の成績） ※派遣学生が準備
- (3) 本学の学業成績証明書 ※派遣学生が準備

7. 選考方法及び結果通知

応募書類に基づき採用プログラムを決定し、渡航月の2か月前までに選考結果を通知します。

8. 海外派遣に係る安全管理について

各プログラムにおいて、以下リンクの「海外渡航リスク管理」ページに記載のとおり、ご指導願います。<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/risk-kanri.html>

9. 派遣終了後

- (1) 派遣学生は、帰国後に成果発表を行うとともに、プログラム終了後1か月以内に成果報告書【様式2】を作成の上、指導教員へ提出することが義務付けられます。
- (2) 指導教員は、学生の派遣先教員又は担当者からの評価【様式3】を受け取った上で、上記(1)に基づく最終評価を行った内容を実施評価書【様式3】に追記し、成果報告書【様式2】と共に留学交流グループ（留学交流担当）に提出してください。
- (3) 派遣学生は、学内外で開催される留学成果報告会等での発表、各種調査・アンケートへの回答、派遣先大学等からの留学生及び研究留学を希望する学生への支援並びに広報活動等に全面的に協力いただきます。なお、各種調査・アンケートにて回答いただいた結果は、今後のプログラム改善検討に活用する目的で、個人が特定されない形により使用させていただく場合があります。

10. その他

- (1) 応募書類の記載事項等に変更があった場合又は応募プログラムの採用後、予定していた学生の派遣が中止となった場合は、速やかに留学交流グループ（留学交流担当）までお知らせください。
- (2) 採用決定後又は経済支援開始後に応募要件を満たさなくなった場合、採用の取消及び支援額の全額又一部の返還を求めることがあります。

1.1. 今後のスケジュール

- (1) **渡航月の3か月前の月末**（事務取扱日）：募集締切り（部局支援室⇒留学交流グループ）
- (2) **渡航月の2か月前の下旬頃**：グローバル化推進部会の承認後、JASSO 奨学金枠配分可否通知（留学交流グループ⇒部局支援室）
→JASSO 登録データ締切り（部局支援室⇒留学交流グループ）

（例）7月渡航の場合

時期	内容
4月30日（水）	募集締切り（部局支援室⇒留学交流グループ）
5月下旬	JASSO 奨学金枠配分可否通知（留学交流グループ⇒部局支援室）
	→JASSO 登録データ締切り（部局支援室⇒留学交流グループ）

※2026年4-6月開始の場合は、HU-GRIP 応募書類及び JASSO 奨学金申請書類の全てを3月中旬までにご提出ください。

1.2. 問い合わせ先

担当：国際室国際部留学交流グループ（留学交流担当・学生プラザ2階）

Mail：kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

Tel：082-424-7737